

令和元年度水稻作況情報

○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月20日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植3本植
- ・栽植密度 20.8株/m²(16cm×30cm)
- ・施肥施肥 (N・P₂O₅・K₂O kg/10a)

基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

○気象

・育苗期間

気温は5月の播種期以降、平年よりも高く推移した。降水量は5月第5半旬および6月第2半旬で多くなり、日照時間は5月第5半旬で平年を大きく上回った。

・生育期間

気温は6月第3半旬から第5半旬にかけて平年よりやや低く推移し、6月第5から第6半旬は平年より高く推移し、7月1半旬以降は平年よりも低く推移した。日照時間は6月第3から第5半旬にかけて平年を上回ったが、6月第6から7月第2半旬にかけて平年を下回った。降水量は6月第6半旬および7月第1半旬には平年を大幅に上回った。

○生育概況

・育苗期間

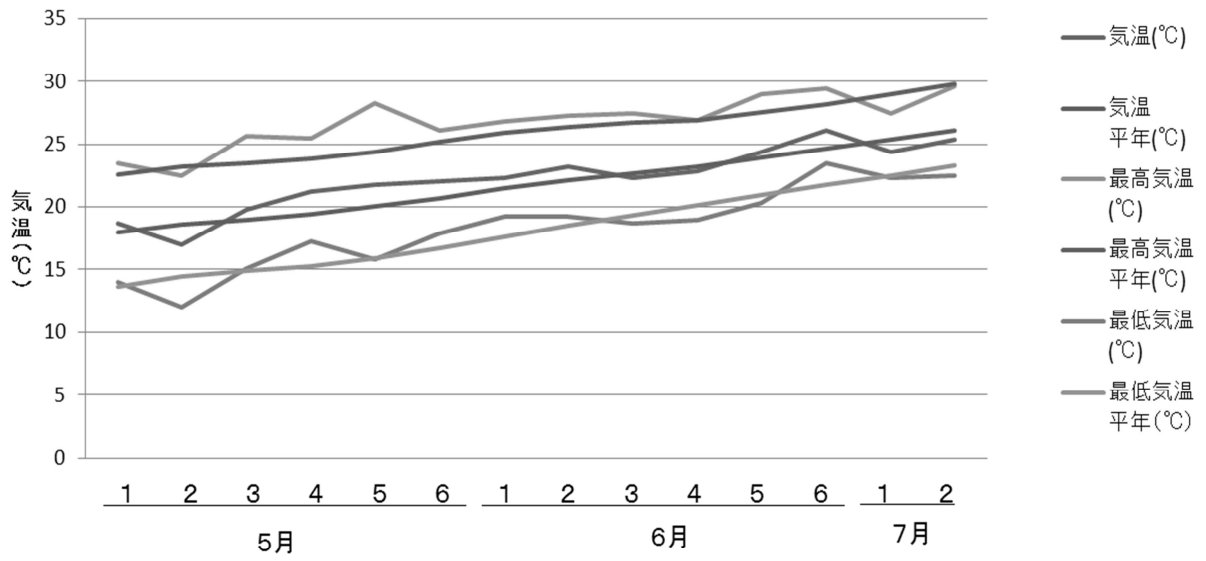
苗質は、いずれの品種も葉齢はほぼ平年並みであった。草丈はいずれの品種も平年を下回った。一方、乾物重はいずれの品種も平年を上回った。

・生育期間

葉齢は、いずれの品種もほぼ平年並みに推移した。草丈は、いずれの品種も移植時では平年を下回ったが、その後回復し、移植後30日では、‘キヌヒカリ’、‘ヒノヒカリ’で平年よりも上回った。茎数は、いずれの品種も移植後20日では平年を下回り、移植後30日もその傾向は続き、特に、‘キヌヒカリ’、‘ヒノヒカリ’で顕著であった。

項目	調査日	キヌヒカリ				きぬむすめ				ヒノヒカリ						
		本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉			
葉齢(葉)	6月10日	3.3	0.1	葉	0.1	葉	3.2	0.1	葉	0.0	葉	3.4	0.2	葉	0.0	葉
	6月20日	5.2	0.0	葉	-0.1	葉	5.2	0.0	葉	-0.1	葉	5.2	0.0	葉	-0.1	葉
	6月30日	8.2	0.1	葉	0.2	葉	8.3	0.1	葉	0.0	葉	8.2	0.0	葉	0.0	葉
	7月10日	10.2	0.1	葉	0.1	葉	10.2	-0.1	葉	-0.1	葉	10.2	-0.2	葉	-0.1	葉
草丈(cm)	6月10日	12.1	78	%	78	%	13.0	82	%	84	%	13.4	89	%	94	%
	6月20日	23.8	110	%	103	%	21.1	92	%	84	%	20.2	100	%	96	%
	6月30日	35.7	113	%	109	%	31.7	101	%	98	%	29.5	106	%	104	%
	7月10日	59.9	106	%	108	%	54.0	100	%	103	%	47.6	102	%	103	%
茎数(本/m ²)	6月20日	63.2	100	%	100	%	63.9	101	%	101	%	63.9	101	%	100	%
	6月30日	167.7	90	%	85	%	153.5	86	%	83	%	159.0	89	%	83	%
	7月10日	291.0	88	%	78	%	322.6	95	%	84	%	297.2	78	%	77	%
乾物重(mg/本)	6月10日	25.0	151	%	138	%	23.5	135	%	131	%	23.3	147	%	135	%

半旬別気温の推移(2019)



半旬別降水量および日照時間の推移(2019)

